

平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月6日

上場取引所 大

上場会社名 テラ株式会社

コード番号 2191 URL <http://www.tella.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員

(氏名) 矢崎 雄一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員

(氏名) 山本 龍平

TEL 03-6272-6477

四半期報告書提出予定日 平成24年11月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	1,179	20.0	205	199.9	198	288.4	88	266.4
23年12月期第3四半期	982	—	68	—	50	—	24	—

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 103百万円 (241.4%) 23年12月期第3四半期 30百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	6.76	6.67
23年12月期第3四半期	1.98	1.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第3四半期	2,260	1,417	61.5	105.72
23年12月期	2,212	1,305	58.3	98.75

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 1,388百万円 23年12月期 1,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,537	16.3	180	153.9	170	226.2	73	343.3	5.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	13,137,000 株	23年12月期	13,074,000 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	239 株	23年12月期	211 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	13,120,079 株	23年12月期3Q	12,213,565 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	5
(4) 追加情報.....	5
3. 四半期連結財務諸表.....	6
(1) 四半期連結貸借対照表.....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	12
(5) セグメント情報等.....	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、東日本大震災後の復興需要等により、緩やかな回復傾向にありましたが、欧州債務危機や円高に加え、海外の景気下振れリスク等、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、がんワクチン療法の一つである樹状細胞ワクチン療法を中心とした研究開発、全国の医療機関に対する営業開拓、セミナー等を通じた患者に対する情報提供、学会等での発表を中心とした学術活動及び大学・研究機関等に対する細胞加工施設の運営受託・保守管理サービス等を継続的に行ってまいりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高につきましては、細胞治療支援事業が順調に推移したことにより、1,179,785千円（前年同期比196,965千円増、20.0%増）となりました。利益面につきましては、売上高の増加に加え、細胞治療技術開発事業における販売費及び一般管理費等が前年同期と比べ減少し、営業利益は205,564千円（前年同期比137,021千円増、199.9%増）、経常利益は198,050千円（前年同期比147,063千円増、288.4%増）、四半期純利益は88,646千円（前年同期比64,451千円増、266.4%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

①細胞治療技術開発事業

細胞治療技術開発事業は、樹状細胞ワクチン療法を中心とした独自のがん治療技術・ノウハウの提供を契約医療機関に行っております。

全国の医療機関に対する営業開拓活動につきましては、平成24年8月に医療法人社団八九十会（明神町クリニック、東京都八王子市）、平成24年9月にすずきクリニック（秋田県秋田市）、平成24年10月に医療法人社団盛翔会（浜松北病院、静岡県浜松市）と連携契約を締結いたしました。これにより、契約医療機関は、全国で24カ所（平成24年11月6日現在）となりました。

患者に対する情報提供活動につきましては、「がん治療セミナー」を当社契約医療機関と共同で、北海道、宮城県、東京都、愛知県、京都府、兵庫県及び福岡県にて開催いたしました。

平成24年8月に、WT1ペプチドに関する特許を保有する株式会社癌免疫研究所と独占的特許実施許諾契約を変更する合意書を締結いたしました。この合意書により、アジアにおける独占実施権の許諾地域について、従来の日本及び中国に加えて他の諸国も追加され、インドネシア、マレーシア、シンガポール等のASEAN諸国においても、WT1ペプチドを用いた樹状細胞ワクチン療法等に関する技術・ノウハウを提供することが可能となりました。

平成24年9月に、当社の契約医療機関である信州大学医学部附属病院が、樹状細胞ワクチン療法（「樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法」）を先進医療として実施する医療機関として承認されました。当社は、平成20年7月に、国立大学法人信州大学と共同研究契約を締結し、信州大学医学部附属病院は、この樹状細胞ワクチン療法等に関する技術・ノウハウ提供に基づき、臨床研究を実施してまいりました。今後、信州大学医学部附属病院は、先進医療として乳がん、肺がん、膵臓がん、胃がん及び大腸がんを対象とした樹状細胞ワクチン療法を実施してまいります。当社は、引き続き、先進医療への申請支援及びエビデンス（科学的根拠）の強化を推進してまいります。

当第3四半期（7月～9月）の樹状細胞ワクチン療法の症例数は約370症例となり、当社設立以降の累計で約6,000症例となりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高につきましては、症例数が概ね順調に推移したことにより、926,570千円（前年同期比27,040千円増、3.0%増）となりました。営業利益につきましては、減価償却費の減少に加え、コスト削減への取り組み等により前年同期と比べ大幅に増加し、159,485千円（前年同期比111,450千円増、232.0%増）となりました。

②細胞治療支援事業

細胞治療支援事業は、研究機関、医療機関からの細胞加工施設の運営受託及び保守管理サービス、並びに消耗品、装置の販売及び販売サポート等を行っております。

当第3四半期連結累計期間における売上高につきましては、バイオメディカ・ソリューション株式会社を平成23年2月に連結子会社化したことにより、当四半期すべての期間に寄与したこと、また販売サポート及び保守管理サービス等の新規受注が順調に推移したことにより前年同期と比べ大幅に増加し、253,215千円（前年同期比169,925千円増、204.0%増）となりました。営業利益につきましては、受注拡大に伴う売上原価等の増加があったものの、前年同期と比べ大幅に増加し、46,079千円（前年同期比25,571千円増、124.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間の総資産は前連結会計年度末から47,338千円増加し、2,260,137千円となりました。流動資産は前連結会計年度末から55,625千円増加し、1,561,266千円となりました。この主な要因は、現金及び預金、前払費用の増加と受取手形及び売掛金の減少であります。固定資産は、前連結会計年度末から8,286千円減少し、698,870千円となりました。この主な要因は、固定資産の取得による増加と固定資産の除却及び減価償却による減少であります。

負債総額は前連結会計年度末から65,317千円減少し、842,356千円となりました。流動負債は前連結会計年度末から157,514千円増加し、597,463千円となりました。この主な要因は、短期借入金、未払法人税等の増加と社債及び長期借入金の返済であります。固定負債は前連結会計年度末から222,831千円減少し、244,892千円となりました。この主な要因は、社債、長期借入金及びリース債務の減少であります。

純資産は前連結会計年度末から112,656千円増加し、1,417,780千円となりました。この結果、自己資本比率は61.5%となりました。

②キャッシュ・フローの分析

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、1,160,927千円となり、前連結会計年度末と比較して68,257千円の増加となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは300,596千円の増加（前年同四半期は162,827千円の増加）となりました。その主な内訳は、税金等調整前四半期純利益188,292千円、減価償却費117,056千円、売上債権の減少36,408千円、仕入債務の増加10,962千円、前払費用の増加18,720千円、法人税等の支払額45,900千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは109,876千円の減少（前年同四半期は64,589千円の減少）となりました。その主な内訳は、事業所等及び基盤提携医療機関支援のための有形固定資産の取得による支出79,317千円、無形固定資産の取得による支出27,934千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは122,463千円の減少（前年同四半期は215,537千円の増加）となりました。その主な内訳は、短期借入による収入250,000千円、短期借入金の返済による支出100,000千円、長期借入金の返済による支出121,700千円、社債の償還による支出124,400千円、リース債務の返済による支出35,359千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入9,023千円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

売上高につきましては、細胞治療支援事業が好調に推移したこと等により、前回予想を上回る見込みです。利益面につきましては、売上高の増加に加え、コスト等の削減及び研究開発計画の見直し等により、前回予想を上回る見込みです。

(通期連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	1,513	107	96	29	2.25
今回修正 (B)	1,537	180	170	73	5.61
増減額 (B-A)	24	73	73	44	—
増減率	1.6%	68.3%	76.3%	149.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年12月期)	1,322	71	52	16	1.35

本資料に記載しました予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、様々な不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化などにより上記予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,092,670	1,160,927
受取手形及び売掛金	338,881	302,473
原材料	4,540	3,243
前払費用	52,984	71,587
繰延税金資産	5,874	9,528
その他	19,126	21,944
貸倒引当金	△8,437	△8,437
流動資産合計	1,505,641	1,561,266
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	247,186	220,988
工具、器具及び備品(純額)	185,813	226,709
リース資産(純額)	95,493	63,125
有形固定資産合計	528,492	510,823
無形固定資産		
ソフトウェア	7,902	9,829
ソフトウェア仮勘定	7,560	31,067
特許実施権	19,291	15,916
無形固定資産合計	34,753	56,813
投資その他の資産		
投資有価証券	46,750	37,003
敷金	69,163	64,666
保険積立金	7,724	9,668
繰延税金資産	15,998	17,842
その他	6,383	3,998
貸倒引当金	△2,109	△1,946
投資その他の資産合計	143,910	131,232
固定資産合計	707,156	698,870
資産合計	2,212,798	2,260,137

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,200	22,162
短期借入金	—	150,000
1年内償還予定の社債	124,400	95,900
1年内返済予定の長期借入金	158,200	131,000
リース債務	44,432	37,424
未払金	59,714	70,073
未払法人税等	22,867	68,093
その他	19,135	22,810
流動負債合計	439,949	597,463
固定負債		
社債	209,100	113,200
長期借入金	138,900	44,400
リース債務	59,190	31,903
長期預り敷金	55,741	50,537
資産除去債務	4,792	4,851
固定負債合計	467,724	244,892
負債合計	907,673	842,356
純資産の部		
株主資本		
資本金	588,418	593,017
資本剰余金	460,095	464,694
利益剰余金	242,767	331,414
自己株式	△258	△270
株主資本合計	1,291,023	1,388,856
少数株主持分	14,101	28,923
純資産合計	1,305,124	1,417,780
負債純資産合計	2,212,798	2,260,137

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	982,819	1,179,785
売上原価	333,327	393,785
売上総利益	649,492	785,999
販売費及び一般管理費	580,948	580,434
営業利益	68,543	205,564
営業外収益		
受取利息	136	197
不動産賃貸収入	63,730	59,570
助成金収入	910	533
その他	1,507	3,098
営業外収益合計	66,285	63,399
営業外費用		
支払利息	9,673	7,013
社債利息	1,791	2,197
不動産賃貸原価	63,730	59,570
株式交付費	374	174
社債発行費	2,156	—
支払保証料	879	1,044
その他	5,234	913
営業外費用合計	83,841	70,913
経常利益	50,987	198,050
特別利益		
負ののれん発生益	4,274	—
貸倒引当金戻入額	23	—
新株予約権戻入益	1,187	—
特別利益合計	5,486	—
特別損失		
固定資産除却損	170	11
固定資産廃棄損	51	—
投資有価証券評価損	—	9,747
リース解約損	26	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,073	—
特別損失合計	1,321	9,758
税金等調整前四半期純利益	55,152	188,292
法人税、住民税及び事業税	32,798	90,320
法人税等調整額	△7,951	△5,497
法人税等合計	24,847	84,822
少数株主損益調整前四半期純利益	30,305	103,469
少数株主利益	6,110	14,822
四半期純利益	24,194	88,646

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	30,305	103,469
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	30,305	103,469
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,194	88,646
少数株主に係る四半期包括利益	6,110	14,822

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	55,152	188,292
減価償却費	149,154	117,056
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△23	△162
受取利息及び受取配当金	△136	△197
支払利息及び社債利息	11,465	9,211
負ののれん発生益	△4,274	—
助成金収入	△910	△533
株式報酬費用	967	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	9,747
固定資産除却損	170	11
固定資産廃棄損	51	—
保険解約損益(△は益)	4,376	—
株式交付費	374	174
リース解約損	26	0
新株予約権戻入益	△1,187	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,073	—
売上債権の増減額(△は増加)	17,476	36,408
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,429	1,297
仕入債務の増減額(△は減少)	5,659	10,962
前払費用の増減額(△は増加)	△35,595	△18,720
未収入金の増減額(△は増加)	6,000	△2,168
未払金の増減額(△は減少)	△11,806	△2,339
未払費用の増減額(△は減少)	△134	16
未払消費税等の増減額(△は減少)	4,165	4,282
その他	5,562	△3,215
小計	205,177	350,122
利息及び配当金の受取額	136	197
利息の支払額	△12,306	△9,988
助成金の受取額	—	4,761
法人税等の支払額	△30,180	△45,900
法人税等の還付額	—	1,405
営業活動によるキャッシュ・フロー	162,827	300,596

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△66,385	△79,317
有形固定資産の売却による収入	30	25
投資有価証券の取得による支出	△10,000	—
無形固定資産の取得による支出	△7,931	△27,934
保険積立金の積立による支出	△1,944	△1,944
保険積立金の解約による収入	7,980	—
敷金及び保証金の差入による支出	△496	△705
敷金及び保証金の回収による収入	—	5,203
長期預り金の返還による支出	—	△5,203
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	14,156	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,589	△109,876
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	250,000
短期借入金の返済による支出	△117,200	△100,000
長期借入れによる収入	150,000	—
長期借入金の返済による支出	△97,500	△121,700
社債の発行による収入	195,924	—
社債の償還による支出	△101,000	△124,400
リース債務の返済による支出	△32,649	△35,359
割賦債務の返済による支出	△15,968	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	40,713	9,023
新株予約権の発行による収入	220	—
自己株式の取得による支出	—	△11
配当金の支払額	△7,002	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	215,537	△122,463
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	313,775	68,257
現金及び現金同等物の期首残高	671,028	1,092,670
現金及び現金同等物の四半期末残高	984,803	1,160,927

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	細胞治療技術 開発事業	細胞治療 支援事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	899,530	83,289	982,819	982,819	—	982,819
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	899,530	83,289	982,819	982,819	—	982,819
セグメント利益	48,034	20,508	68,543	68,543	—	68,543

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	細胞治療技術 開発事業	細胞治療 支援事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	926,570	253,215	1,179,785	1,179,785	—	1,179,785
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	926,570	253,215	1,179,785	1,179,785	—	1,179,785
セグメント利益	159,485	46,079	205,564	205,564	—	205,564

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。